

埼玉県立川越南高等学校

Saitama Prefectural Kawagoe Minami High School

令和元年度 第1回学校評議員会
令和元年度 第1回学校評価懇話会

Report

令和元年7月9日(火) 開催

令和元年7月9日(火)に令和元年度第1回学校評議員会・第1回学校評価懇話会を開催しました。当日は学校評議員、PTA・後援会代表者、生徒会生徒の学校関係者の皆さんと教職員による川越南高校の現状と課題、今年度の目標とその実現に向けた様々な取組について、意見交換を行いました。13時30分から始まった学校評議員会、続いて14時30分からの学校評価懇話会では、今年度の「学校自己評価システムシート*1の記載内容について学校からの説明を受けて、各委員から御意見と御感想をいただく流れで進行していききました。

以下に学校評議員会及び学校評価懇話会で委員の皆さんからいただいた御意見・御感想の一部を御紹介します。



第1回 学校評価懇話会

学校評議員：「自立」「積極性」と併せて自己表現するという面も非常に重要である。

学校評議員：「部活動のガイドライン」が策定されたことを踏まえ、生徒たちが時間をマネジメントすることが大事だと考える。

生徒：19時完全下校が打ち出されて、勉強にかけられる時間が増えたり、受験に対する意識が変わったりしている。

保護者：スマートフォン等の利用に伴うブルーライトの目への影響が心配である。ICT機器の活用において対策が必要だと考える。

生徒：生徒会活動や文化祭等の行事の情報を生徒間で共有できるよう工夫が必要である。

新たな「目指す学校像」

文武両道を実現し、新しい時代に活躍する自立した社会人を育成する学校

学校評議員：大学は自由・自己裁量でやっていくところだが、川越南高校の卒業生は高校段階までで自立した生活ができるような素地を培っていると思う。

保護者：個々の基準・常識が全てという難しい世の中になってきているが、変化の中で柔軟に対応できる人間の育成も大切である。

*1 学校自己評価システムシート

「学校自己評価システムシート」は、年度当初に本校が策定した目標の達成状況や次年度に向けた課題と改善策等に記載したものです。

「学校自己評価システム」とは、「目指す学校像」の実現に向けて学校が今年度どのような目標を掲げ、どのように取り組んでいくのかを明確にし、自ら評価を行うことで、学校の教育力の向上を図っていくものです。

「学校自己評価システムシート」に記載している目標体系等は次のとおりです。

- * 目指す学校像：10年先を見据えた長期目標
- * 重点目標：3～4年程度の中長期目標
- * 評価項目：重点目標達成に向けた今年度の目標
- * 具体的方策：評価項目を達成するための方策
- * 評価指標：方策の達成状況を把握するための指標

第1回 学校評議員会

学校評議員：「なんこう新聞」の記事を読み、川南生の自立した様子に驚いている。地域との交流を充実させられれば、地域住民の川越南高校への理解が更に深まる。

学校評議員：川越南高校の情報を色々なところで耳にする。評判の良い学校で、卒業生の背中も押してくれている。

学校評議員：立地を生かした中高連携が実現している点は本当にありがたい事である。

学校評議員：かつては小中高と分断されていた印象があったが、今はそれぞれが繋がっていることはとても良い。

学校評議員：将来に対する不安感を拭う為にも高校段階でも違う世界に身を置いて見る体験的な取組は大事である。

